

## マレーシア\*

国際動向・戦略分析グループ 研究主幹 山縣 英紀

### 1. サマリー

#### 1. エネルギー事情

● マレーシアはエネルギー資源に恵まれた国である。石油確認埋蔵量（2006 年末）は 42 億バレルで、アジア・太平洋地域においては中国、インド、インドネシアに次いで第 4 位である。一方、天然ガス（2006 年末）は 2.48 兆 m<sup>3</sup> で、アジア・太平洋地域ではインドネシア、オーストラリアに次ぐ第 3 位の埋蔵量を誇っている。なお、天然ガスの可採年数は石油（15.4 年）の約 3 倍の 41.2 年である。

(1) 一次エネルギー供給量（2005 年）： 石油換算 6,127.9 万トン（日本の 11.6%）

(2) 一人当たり一次エネルギー供給量（2005 年）：石油換算 2.42 トン（日本の 58.3%）

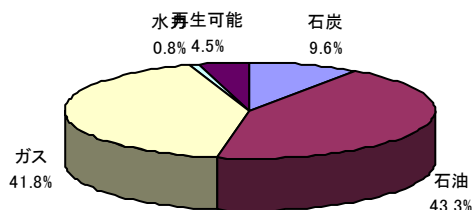
(3) エネルギー自給率（2005 年）： 153%

(4) エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量（2005 年）：138.04 二酸化炭素換算（CO<sub>2</sub>）百万トン

(5) 一人当たりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量（2005 年）：5.45 二酸化炭素換算（CO<sub>2</sub>）トン

(6) エネルギー源別可採年数（2006 年末時点）：原油 15.4 年、天然ガス 41.2 年、石炭 nil

一次エネルギー供給構成（2005 年）



(出所) IEA 「Energy Balances of NON-OECD Countries, 2004-2005」 2007 Edition

### 2. エネルギー政策のポイント

#### (1) エネルギー政策担当機関

マレーシアのエネルギー政策は、首相府直轄の経済計画局（EPU）と実行調整局（ICU）が管轄しており、石油、ガス、電力等の監督機能は EPU やエネルギー委員会がその任に当たっている。

#### (2) 基本政策

持続的な経済成長を維持していくため、安定的で廉価なエネルギー資源を国内市場へ供給することにある。そのため、エネルギー供給源の多様化、エネルギー資源の有効

\*平成 19 年度に経済産業省資源エネルギー庁より受託して実施した受託研究の一部である。この度、経済産業省の許可を得て公表できることとなった。経済産業省関係者のご理解・ご協力に謝意を表すものである。

利用、および環境保護の 3 点をその基本目標においている。石油については国内資源温存政策を採る一方で海外での探鉱開発戦略を展開し、天然ガスは積極的な開発プロジェクトを展開している。

### (3) 最近の動向

アブドラ首相は 2008 年 3 月、政府は小売市場における既存の燃料油価格キャップ制を維持すると発表した。マレーシアでは現在、ガソリン価格が 1 リッター 1.92 リンギ (0.60 ドル)、軽油については 1 リッター 1.58 リンギ (0.49 ドル) に設定されている。マレーシア政府は、原油価格が急騰しているにもかかわらず、2006 年 2 月以来、現在の価格を維持している。<sup>1</sup>

## 3. 日本とのエネルギー分野における関係

日本はマレーシアから石油 (原油+石油製品) および LNG を輸入している。2006 年の日本の原油輸入量は 2 億 4,326 万 kl であり、そのうちマレーシアからの原油輸入量は 120.9 万 kl で総輸入量に占める比率は 0.5% である。また、同年のマレーシアからの LNG の輸入量は 1,201.8 万トンで日本の総輸入量 6,218.9 万トンに占める比率は 19.3% であった。

## 2. 主要エネルギー指標

(2005 年)

(1)	一次エネルギー供給量	61.279	石油換算百万トン	
(2)	一人当たりの一次エネルギー供給	2.42	石油換算トン/人	
(3)	GDP 当たりの一次エネルギー供給	0.54	石油換算トン/千ドル	
(4)	エネルギー自給率	153	%	
(5)	エネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量	138.04	二酸化炭素百万トン	
(6)	一人当たりエネルギー起源CO <sub>2</sub> 排出量	5.45	二酸化炭素トン/人	
(7)	エネルギー供給源別構成率	石炭	9.6	%
		石油	43.3	%
		ガス	41.8	%
		原子力	0.0	%
		水力	0.8	%
		再生可能エネルギー等	4.5	%
(8)	エネルギーの輸入依存度	▲54.5	%	
(9)	石油の輸入依存度	▲46.4	%	
(10)	輸入原油の中東依存度	65.6	%	
(11)	原油輸入先 (2006 年)	第 1 位	サウジアラビア (59,500B/D)	
		第 2 位	オマーン (49,800B/D)	
		第 3 位	ベトナム (31,900B/D)	

(出所) (1)~(4) および (7)~(9) は IEA - 「Energy Balances of Non-OECD Countries 2004-2005」 2007 Edition. (5)~(6) は IEA - 「CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion 1971-2005」 2007 Edition. (10)~(11) は Blackwell - 「World Oil Trade: An Annual Analysis and Statistical Review of International Oil Movements」 September 2007.

<sup>1</sup> Global Insight 「Malaysia」 25 Mar. 2008